

令和7年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	松本市心身障害児通園施設「しいのみ学園」			所管課 外線番号	こども福祉課 0263-33-4767				
所在地	松本市双葉4番16号			設置年月	昭和46年4月				
施設設置目的	心身障がい児に対し、母子通園・単独通園により、療育相談や生活訓練を行い機能回復を図る。								
施設概要・設備	松本市総合社会福祉センター1階 259.19㎡								
指定管理者名（選定方式）	社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 （特命）								
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日 （5か年）								
指定管理者の 主な業務	障がい児の相談及び指導、障がい児の療育及び訓練、送迎車両の管理及び運行								
利用料金制の導入	あり 利用料金制（独立採算）								
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比（％）	対前年比（％）				
	児童発達支援利用延べ人数	1,700	1,248	73.4%	104.0%				
	放課後等デイサービス利用延べ人数	100	193	193.0%	101.0%				
(特記事項) 1日あたり利用人数 児童発達支援5.4人 放課後等デイサービス0.8人									
事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（令和7年度）				市の収支				
	収入 (歳入)	年度計画額		収支実績額		令和7年度決算		令和6年度決算	
		項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		指定管理料	0	指定管理料	0	国庫補助金	11,187,794	国庫補助金	8,579,416
		事業収入	23,186,000	事業収入	24,388,412	県費補助金	5,593,897	県費補助金	4,289,708
		県費補助金	160,000	県費補助金	366,818				
		自主事業収入	100,000	自主事業収入	83,390				
		繰越金	1,631,000	繰越金	1,630,766				
		雑収入等	137,000	雑収入等	100,400				
		拠点区分間繰入金収入	1,128,000	拠点区分間繰入金収入	1,128,000				
		寄付金収入	20,000	寄付金収入	20,000				
	計	26,362,000	計	27,717,786	計	16,781,691	計	12,869,124	
	支出 (歳出)	人件費	23,026,000	人件費	22,804,012	利用促進費	83,390	利用促進費	139,100
		事業費	596,000	事業費	580,654	扶助費	22,375,589	扶助費	17,158,832
事務費		2,098,000	【内訳】保健衛生費・教養娯楽費・燃料費・消耗器具備品費・保険料・車輦費・雑支出						
負担金		1,000							
拠点区分間繰入金支出等		326,000							
固定資産取得支出		315,000	事務費	1,990,953					
			【内訳】福利厚生費・諸謝金・旅費・研修費・消耗品費・印刷製本費・修繕費・通信費・委託費・手数料・負担金・租税公課						
計	26,362,000	計	26,012,809	計	22,458,979	計	17,297,932		
損益	0		1,704,977		差引	-5,677,288	差引	-4,428,808	
(特記事項)									

2 市（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書（提案書）の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。
評価の手段は、実績報告書（毎月）及び事業報告書（年度終了時）の点検並びに立入検査（随時）等によるものです。

評 価 の 基 準		
A	（1. 0）	高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	（0. 7）	事業計画書（提案書）どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	（0. 5）	事業計画書（提案書）どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分を確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	（0. 0）	不適切な部分を確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
69

大項目	中項目	評 価 項 目	配点	評価	評価の根拠
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	A	施設の性質上対象者は特定される。サービス提供が難しく、職員の業務量が多い利用者も積極的に受け入れている。
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	B	労働条件モニタリング様式で確認し問題はない。
	危機管理対策	3 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	A	関係機関への連絡方法等が整備され、組織的に対応できる仕組みが整っている。また利用者を含めた避難訓練も定期的に実施している。
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	日々の職場ミーティングで対象児童の心身の状況を共有し、ヒヤリハット事故発生防止に取り組んでいる。
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	利用契約書の中に、個人情報の保護が明記されており、また電子データの管理も法人全体で対策に取り組んでいる。
管理能力	団体の概要	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	法人本部を含め複数の職員で経理を管理。決算情報は公開しており、監査請求に対応できる内容になっている。
		7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	B	財務モニタリング様式で確認。前年より利用者数、収入はやや増加。法人の資産状況から安定運営が継続できている。
	管理運営	8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	B	同一の建物内に法人本部がある。また医療・福祉の様々な専門資格を有する職員が配置されていて支援体制は確立されている。
		9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	B	設置目的、管理運営業務を的確に理解した事業計画であり、適切に計画が履行されている。
	組織・体制	10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	B	市とは相互に連絡がとれ情報共有が図られている。また、協力医療機関とも必要時連携がとれている。
		11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	C	看護師の配置はできたが、保育士の不足があり、職員体制への保護者の要望が多い。
	働き方改革の推進	12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	B	園長が専門資格を有しており、別に児童発達支援管理責任者を配置することで、役割を明確にし、指揮系統が適切な状態となっている。
		13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	A	ワークライフバランスデーの実施や育児中の職員が時短勤務を選択できる体制ができている等、働き方改革に取り組んでいる。
		14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	A	計画的なOJTの実施、外部研修会への参加により支援に必要なスキルの獲得に取り組んでおり、事故報告はなかった。
	経理及び事務処理等	15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	複数の職員によって会計処理の確認がされた後に、支払いが行われているため問題はない。
		16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	市の要求水準内の施設管理業務のなかで第三者へ委託する業務はない。水準を超えるものは法人が一括し委託している。
		17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか	3	B	事業ごとの事業内容、利用実績がわかる報告書を提供月の翌月に適切に提出されている。
	安全管理	18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	救急法、心肺蘇生法、AED操作講習の実施を計画的に行い、職員の教育をしている。安全計画も作成済み。
施設の運営	業務内容	19 管理区域、業務範囲についての的確に把握し、適切に管理運営を行っているか	4	B	生活空間や環境への配慮がなされており、アンケートでも環境への満足度は89%~100%となっている。
		20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか	5	A	施設の設置目的を把握した運営により、アンケートでの満足度は利用児が94%、保護者が89%となっている。
		21 年間の事業量が適切に実行されているか	3	A	事業量は例年どおり適切に実行されている。
	地域との連携	22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	B	法人として地域住民や団体との連携に取り組んでいる。保育園との交流を計画しているが感染症流行により実施できなかった。
	利用促進	23 施設の利用率の向上に努めているか	4	B	施設利用対象児童が限定されるため利用率の向上とはなりにくいが、利用希望に対しては基準範囲内で受入を行ってきた。
	利用者サービス向上	24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	B	活動プログラムが固定化しないよう配慮されており、アンケートでは「工夫されている」が94%であった。
	障がい者等への配慮	25 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	A	施設の特性から障がい児に配慮した管理がなされている。
	苦情・要望等への対応	26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか	3	A	月1回程度の保護者会や懇談会で要望等を聞き取り、アンケート調査も実施し業務改善に取り組んでいる。
	セルフモニタリング	27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	B	毎月の実績報告書提出、年1回の自己評価結果の公表の実施でセルフモニタリングを適切に行っている。
	環境への配慮	28 施設運営における環境負荷の低減に向けた具体的な目標を定め、認定取得等、その達成に向けた取組みが講じられているか	2	B	省エネルギー・省資源・事務用紙等の廃棄物削減など環境への配慮に積極的に取り組んでいる。
経済性	経費削減・業務効率化	29 経費節減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	役割分業による業務の効率化に積極的に取り組んでいる。
	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画とおり収入が確保できたか（又は、利用者を確保できたか）	4	B	事業に関する支出は事業計画書の範囲内。利用者都合によるキャンセルは多かったが、前年から利用者数は増加した。

3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	令和8年2月24日～令和8年3月13日
	調査対象	通所児童の保護者
	調査方法	アンケート用紙を配布し、施設内の回収箱で回収
調査結果	別紙のとおり	
利用者からの意見 要望・苦情等	別紙のとおり	

4 指定管理者による自己評価

令和7年度の 自己評価	○重症心身障害児・肢体不自由児・医療的ケア児を中心とした重複障害児(視覚障害・聴覚障害含む)を積極的に受け入れている。専門職による個別支援や、医療機関と連携し事業所内での診察、健診を行っており、日々の療育に活かすとともに、健康を維持し継続的に登園できるよう支援している。
要望・苦情への 対応状況	○それぞれの身体状況に配慮しながら、子どもが日常的に経験するであろう活動や遊び、季節の行事にチャレンジし経験を積み重ねられるよう、日々の活動に創意工夫をしている。 ○親子で同じ活動を経験することによって、子どもへの理解を深め、成長を皆で喜び合える環境を作っている。 ○職員の不足については、看護師の確保ができたが十分な対応には至っていない。
今後の目標	○日々の療育においてできる限り細やかな対応を行うために、保育士、加配職員、看護師の安定的な確保に引き続き努めていきたい。また、支援の質の維持・向上のため職員の固定化を図っていきたい。 ○感染症対策を徹底しつつ、事前準備を丁寧に行い安全対策を確実に行うよう心掛ける。 ○今後も、重症心身障害児・肢体不自由児・医療的ケア児等を積極的に受け入れ、保護者、児童ともに安心して生活できるよう丁寧なサポートに努めたい。

5 市(所管課) による総合評価

総合評価 (4段階評価) の基準	
A	(1. 0) アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B	(0. 7) アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C	(0. 5) アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D	(0. 2) 改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

【自主事業を実施している場合の評価】
昨年度同様、タイムケア事業を実施。指定管理業務の兄弟姉妹の受け入れを主に行うことで、利用を必要としている児童の安定した継続利用が実現している。

【個別施設ごとのテーマに対する評価 ※設定がある場合】
医療的ケアを必要とする児童の受け入れを積極的に行っていた。個々の身体状況に応じ、支援の難しさがあってもどのように支援をすれば利用ができるか検討し受け入れを行ってきた。
看護師の確保はできたが、保育士退職後の補充が難しく、利用者が必要としているサービスを提供するための人員の不足は続いている。
職員の努力により利用ニーズは満たしているが、医療的ケアを必要とする児童を安定して受け入れる体制整備は引き続き必要となっている。

【総合的な評価】
利用者アンケートにも記載があるとおり、保育士に関しては、必要な人員を確保することができなかった。配置されている職員の丁寧な対応により、利用者ニーズは満たされているが、昨年度と変わらず、利用者が職員の負担感を心配する事態となっている。
事業に求められる専門性のため、代替法人の検討は困難である。指定管理者の努力が必要であるが、指定管理者のみでは課題の解決が難しいため、市も含めた課題解決の取組みが必要となる。

配点	評価
10	C
点数	5

合計点数
74

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」

※「不可」の場合は、指定管理者の取消処分を含め、早急な改善対応の検討が必要

判断結果
適 正

【別紙】
3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和8年2月24日～令和8年3月13日
	調査対象	通所児童の保護者
	調査方法	アンケート用紙を配布し、施設内の回収箱で回収
調査結果	実施状況 通所児童の保護者27名に配布。 回答者18名（回収率66.7%）※無回答複数あり ○活動等のスペースが十分に確保されている はい94% ○職員の配置数や専門性は適切である はい83% どちらともいえない5% いいえ17% ○事業所の設備は整備されている はい89% どちらともいえない11% ○清潔で心地よく、活動に合わせた空間となっている はい100% ○ニーズや課題を踏まえた支援計画となっている はい100% ○支援計画にはガイドラインに沿った具体的な支援内容が設定されている はい83% わからない17% ○支援計画に沿った支援が行われている はい66% どちらともいえない17% わからない17% ○活動プログラムは工夫されている はい94% どちらともいえない6% ○保育所等や障がいのない子どもと活動する機会がある はい50% どちらともいえない17% いいえ11% わからない17% ○運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされた はい94% ○支援計画、支援内容について丁寧な説明がなされた はい100% ○家族支援プログラムが行われている はい83% どちらともいえない8% いいえ8% ○児の健康、発達状況、課題について共通理解ができている はい100% ○定期的に面談や助言等の支援が行われている はい83% どちらともいえない11% ○保護者同士の交流の機会や連携が支援されている はい67% どちらともいえない17% いいえ11% ○相談や苦情に対して速やかな対応がある はい94% ○職員との意思疎通、情報伝達に配慮されている はい83% どちらともいえない11% ○定期的に活動概要や行事予定、業務に関する自己評価が発信されている はい83% いいえ6% わからない6% ○個人情報の取り扱いに十分注意されている はい89% どちらともいえない6% ○緊急時、防犯、感染症等の対応について周知、説明がなされている はい89% どちらともいえない6% ○定期的に避難訓練が行われている はい72% どちらともいえない6% わからない17% ○子どもは通所を楽しみにしている はい94% ○事業所の支援に満足している はい89% どちらともいえない6%	
利用者からの意見 要望・苦情等	○昨年3月に保護者から要望書として意見を提出し、市と社協の皆さんには対応いただき本当にありがとうございました。しかし、人員不足であった保育士についてはいまだ不足しており、現状は変わっていません。 ○子どもがこちらに通い素晴らしいサービスを提供していただき感謝しています。先生たちのエネルギーがこのまま失われることなく子どもたちへ届くように人の補充をしてください。 ○子どもはもちろんのこと親の心配までしていただきありがたい限りです。 ○いつもありがとうございます。先生方や周りのお母さん方もあたたかく、安心して通わせていただいています。子どももしいのみ学園が大好きです。障がいや親のニーズも多様化している中なのかと思しますので、どんな子も、より良く地域で安心して育てていけるよう、新しいことも取り入れながら柔軟にお力を添えていただければありがたいです。	